

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO170.

2012. 7. 25.

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムズ7月号

★宝塚大学日本画研究室 卒業生選抜展

1987年（昭和62年）の春に関西での最新鋭の芸術系大学としてスタートした宝塚造形芸術大学は、その後、東京メディアコンテンツ学部・看護学部と発展をとげ、2010年4月に宝塚大学と改称しました。その宝塚大学が創立25周年の記念事業として数々のイベントを来年の1月まで予定しており、その一つとして8月8日（水）～12日（日）まで「原田の森ギャラリー」として知られる兵庫県立美術館王子分館（王子公園のすぐ南側）本館1階展示室で同大学日本画研究室卒業生選抜展が開かれます。この件に関して宝塚大学日本画研究室の山田毅様からメッセージをいただいておりますのでご紹介します。

「この度、宝塚大学創立25周年を記念して、日本画研究室では、本学の活動を一人でも多くの方々に観て頂きたく、日展、日春展等の全国公募展に入選した作品を中心に約50点を選抜し展示する事になりました。また、7月25日～31日迄、三宮インフォメーションギャラリーにて、日本画小品展を開催致します。御高覧承ります様お願い申し上げます」とのことです。メッセージの中にもあります様に、インフォメーションギャラリーで先行して一部の日本画が展示されます。ここで直にその素晴らしさに触れていただければ、皆様のアートな心が刺激を受けるのは間違いありません！是非、この小作品展と原田の森での選抜展にお出かけください！！（写真の絵は生徒さんの作品ですが、今回の出展作品ではありません。） 展示は午前10時～午後18時まで（最終日は16時まで）

お問い合わせ先： 宝塚大学25周年記念事業実行委員会 ☎072-756-1231

E-mail：{ HYPERLINK

"mailto:anniversary25@takara-univ.ac.jp" }

★石垣島の力強い古陶、堪能しました

沖縄本土復帰40年特別企画展の「致元と八重山古陶」展が那覇市の壺屋焼物博物館で開催されていました。私達が進める「夢・未来号プロジェクト」を沖縄に在って献身的に御協力下さる吉戸直さんがプロデュースされた、沖縄タイムス社が主催された展覧会です。仲村渠致元（ナカダカチゲン）という18世紀の名工が石垣島に渡って作陶した名品を初め、今まで他の作例と考えられていた力強い作品が展示され、今後の研究の深まりが期待される、地味ですが意味のある展覧会でした。



★節電の夏 小さな行動が大きな力に！

ご存じの様に昨年の夏、今年の冬、今年の夏で3回目の節電要請期間が始まっております。7月10日より節電幅が15%から10%に変更になり緩和された感はありませんが、現状について関西電力神戸営業所に取材をいたしました。関電の担当者の方から先ず、昨年来からの街を挙げての積極的な節電協力に対するお礼がありました。そして以下のようなメッセージを頂いておりますのでご紹介します。「今回15%から10%に節電幅を変更させていただきましたが、未だ十分な予備力を確保している状況にはなく、13基の火力発電所の定期検査を延期し、ほぼフル稼働の状態を続けております。火力発電所等にトラブルが発生した場合には、電力需給が逼迫することも予想されます。また、

関西電力からの要請により

節電に
協力しています。

みなさまのご理解とご協力を
よろしくお願いいたします。

同様に他の電力会社の発電所でトラブルが発生した場合にも、関西電力向けの電力融通が縮小し、電力需給が逼迫することも考えられます。万が一に備えるべく、計画停電のお知らせとして約 1200 万通のDMをお客様へ発送しておりますが、**何が何でも計画停電を回避すべく、不退転の決意で電力供給力確保に全力を尽くして参ります**」とのことでした。担当者の方の真剣な眼差しが電力供給危機の厳しさを物語っているようで、聞いているこちら側も思わず手に入ってしまった。2丁目タイムズをご覧の皆様も気を緩めることなく、ご自宅に関しても節電へのご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。詳しい情報は関西電力株式会社のホームページまで！ www.kepco.co.jp/

★株式会社センター興産さんからのご挨拶です

センター街2丁目にあります「銀座ダイヤモンドシライシ」の建物オーナーで、5月に三宮センター街2丁目商店街振興組合に加入していただいた(株)センター興産の代表取締役 南健次郎様からご挨拶のメッセージをいただきました。「(株)センター興産は永年に渡り神戸を中心に不動産賃貸業・仲介業を手掛けてきました。特に不動産仲介業においては、三宮センター街を始め、三宮周辺の店舗リーシングに力を注いでおります。それぞれの街並み、商業地区が持つイメージを大切にしつつ、華やかで魅力溢れる街になるよう不動産を通じ、皆様方に貢献していきたいと考えております。よろしくお願いいたします」とのことです。私達の街の新しいお仲間として一緒に頑張っていきましょう。これから末永くよろしくお願いいたしますね。(株)センター興産 ☎078-322-3444 銀座ダイヤモンドシライシ ☎078-334-7470

★神戸市立博物館 「桜ヶ丘銅鐸の謎に迫る」

「桜ヶ丘銅鐸」って何？なぜ「桜ヶ丘」？と疑問を感じつつ、現在、展示が行われている神戸市立博物館



に取材に行ってきました。「銅鐸」とは青銅製の鐘のことで、約 2000 年前の弥生時代に作られた物です。そして「桜ヶ丘」ですが、これが意外と神戸市民にとっては身近の名前で、昭和 39 年に神戸市灘区桜ヶ丘町の山の中で家の壁土を採っていた人が偶然 1 4 個の銅鐸と 7 本の銅戈（どうか）を発見したことから、「桜ヶ丘銅鐸」と名付けられました。銅戈とはやりの先の刃とほぼ垂直に取り付けられている鎌状の武器のこ



とです。「銅鐸」の正確な使用目的ははっきりしておらず、発見された銅戈もその薄さから銅鐸と同じく、日本に米作りが伝わった弥生時代に豊作を願った農耕儀礼の祭器として使われたのではないかと考えられています。その後、弥生時代からそれに続く古墳時代への流れの中で銅鐸に代わって「鏡」が重視されるようになり、不必要になった銅鐸を大切な宝器として地下に奉納されたと考えられています。実物を観ると、その時代を映すような動物や人などの模様が表面に描かれていて、その時代の人々の暮らしに想いを馳せることができます。日頃の雑務に辟易している皆様、一時でもそれらを忘れて、悠久の旅路へといざなってくれる神戸が誇る国宝を観にいきませんか？

9月2日（日）まで開催

神戸市立博物館 ☎078-391-0035 午前 10 時～午後 5 時（金曜日は午後 7 時まで） 休館日：月曜日

同時開催：古地図企画展「海と陸のみち」－江戸時代を旅する－

南蛮美術企画展「Meeting with the West!－西洋と出会った江戸美術－

★編集後記

西神戸を代表する商工業の街、神戸市長田区で 35 年間営業してきた大丸新長田店が 2013 年 1 月で閉店することが決まりました。震災後の人口減少や、それに伴う住民の高齢化、さらには景気減速など、あらゆる面から街の活力が失われ、その魅力も失われていった結果でしょう。鉄人 28 号の巨大モニュメントなども活力を取り戻すには十分ではないようです。街の魅力は一時的な人集めのイベントやハード面だけでは決して備わりません。大資本が流れている大阪と同じ手法ではなく、「**なぜか足が向いてしまう魅力的な街**」を目指しています。安心・安全・清潔でアートの風が漂い、やさしさを感じる街になれば、何度でも我が街に出向いてもらえるでしょう。街を挙げて協力・推進している 8 月の献血運動もその一つです。これからもご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。